

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 14 日

評価対象事業		評価者	発達支援室長 田中 香織		
こども-34	実施事業	障害者施設管理運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	発達支援室
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	障害福祉課
総合計画上の位置付け	分野	健康福祉	施策の方針	地域生活の支援サービス	

1 事業の目的

対象	障害児等
意図	障害児等に余暇活動の場を確保することにより、その家族の介護に係る身体的及び精神的な負担を軽減し、障害児等及びその家族の福祉の増進を図るため。
効果	障害児放課後・余暇支援施設の複数整備により、障害児等が安心して活動できる場が拡大するとともに、利用希望者の増加に対応する。

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉はまなみの効率かつ効果的運営を図るため、施設の維持管理及び運営を指定管理者に委託した。 ・障害児通所支援事業等を行う施設の光熱水費を支払った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)決算		02年度(2020年度)当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,308人	81,763世帯	176,436人	82,444世帯	176,608人	83,058世帯	・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)	739	764	当初予算(千円)	1,069		
	国県支出金			国県支出金			
	地方債			地方債			
	その他	739	764	その他	1,069		
	一般財源	0	0	一般財源	0		
	人員配置数	0.2	0.2	人員配置数	0.2		
事業経費運営	人件費(千円)	1,551	1,601	人件費(千円)	1,593		
	総事業費(千円)	2,290	2,365	総事業費(千円)	2,662		
	市民1人当りの経費(円)	13	13	市民1人当りの経費(円)	15		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない	
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない	
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある	
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいのか	3. 廃止・休止による影響は大きくある	
有 効 性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている	
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいのか	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している	
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	<input type="radio"/> 負担導入済	<input type="radio"/> 2. 適正な受益者負担を導入している
			<input type="radio"/> 2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	<input type="radio"/> 協働実施済	協働実施済の場合のパートナー <input type="radio"/> (社福) ほしづきの里 <input type="radio"/> 特定非営利活動法人 ADDS
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	見直しの内容
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> 縮小
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒		<input type="checkbox"/> その他
			事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	平成30年4月1日から、市が施設を賃借し民間事業者により施設を運営しており、事業内容を変更せず実施するため。
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする		
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する		
総評(評価に対する考え方、根拠等)	担い手としては、すでに民間事業所が担っており、市は事業の実施場所を賃貸借で提供している。		

令和元年度(2019年度)事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	バリアフリー施設の特徴を活かして、医療的なケアを必要とする重症心身障害児の受け入れをすすめることを目標としているが受け入れに課題がある。	
課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組	平成30年4月より、深沢こどもセンター、由比ガ浜こどもセンターの一部を民間事業者に賃貸借し、民間事業所による障害児通所支援事業を実施している。バリアフリー施設の利点を生かし、医療的ケアを必要とする重度心身障害児の受け入れを行っているが、医療的ケア児の受け入れ人数についてはまだ限られている。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	医療的なケアを必要とする児童の受け入れ人数がまだ少ないため、引き続き医療的ケアを必要とする児童の受け入れの拡大を図っていく必要がある。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	放課後等デイサービス事業所数							
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	横須賀市	逗子市	平塚市	大和市	
他市実績	16	46	22	39	3	26	21	

比較事項	児童発達支援事業所数(福祉型児童発達支援センター及び児童発達支援事業)							
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	横須賀市	逗子市	平塚市	大和市	
他市実績	11	22	14	13	3	7	12	

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	事業所数については市の人口規模や障害児の人数等も含めて総合的に判断する必要があるため、ベンチマークの比較値は参考値。
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	医療的ケア児の放課後等デイサービスの利用者数(障害児活動支援センターおよび由比ガ浜こどもセンターとの合算)						単位	人	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)				
医療的ケアを必要とする児童の受け入れ拡大をはかる指標	目標値	-	-	-	-	-	15	H29年度に完成した由比ガ浜こどもセンターでH30年度から重度心身障害児の受け入れを行う障害児通所支援施設として民間事業所が運営を開始したことで、平成30年度は実績のみとなっている。			
	実績値	-	-	-	-	7	7				
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次										
	目標値										
	実績値										
	達成率										

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	医療的ケア児の契約者数2施設(由比ガ浜こどもセンター及び深沢こどもセンター内の障害児通所支援施設)の利用実績を指標としている。
-----------------------	---